

復興に不可欠な能登ヒバ

木材産業以外の地域全体に貢献

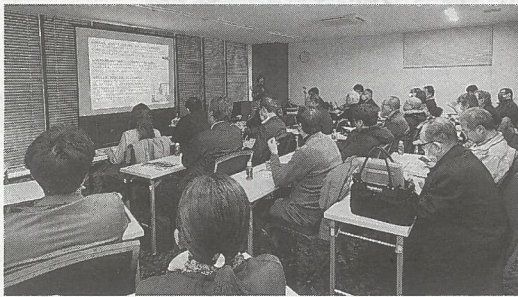
石川県木材産業振興協会

石川県木材産業振興協会(通称一洋理事)は2月26日、「アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興フォーラム」を開いた。同フォーラムでは、能登ヒバの活用拡大は木材産業だけでなく、輪島塗といったそのほかの地域産業や地域社会全体の復興に欠かせないことが示された。

深町加津枝京都大学地球環境学准教授は「能登ヒバは能登と地域の産業のかかわりについて説明した。深町氏は、輪島塗では丸盆の本体には能登ヒバの柱目が使われており、道具でもへうに能登ヒバが使われている。また、能登半島の各地で開催される「能登ヒバ祭り」で使われる大型の灯籠の躯体にも能登

ヒバは全体または部分的に使われている」として、「能登ヒバは能登の伝統に欠かせない存在だ」と話した。

細川英邦輪島市漆器商工課漆器産業振興室長は、2022年に輪島塗技術保存会が製作した輪島塗の地球儀でも、本体に能登ヒバが使われたことを紹介。続けて「25年度は輪島塗の海外への販路



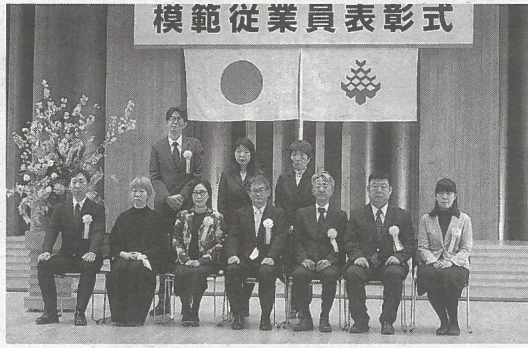
会場とオンライン合わせて約100人が集まり、能登ヒバに高い関心を寄せた

拡大を目指していく。そのなかで地元材料があることは非常に重要だ」と述べ、漆工にも能登ヒバも輪島塗にとって重要な原材料との見解を示した。

社長は「当社は地震よ

一方、昨年1月の能登半島地震や9月の奥能登豪雨では、山林や地域の製材工場も大きな被害を受けている。

亀井順一郎能登森林組合代表理事組合長は「震災後、能登ヒバを特色ある林産品として活用したい」と述べ、能登ヒバの利便性を高めるため、能登ヒバの活用拡大への取り組みが県内外に広がり、能登の地域社会全体の復興につながっていくことが期待されている。



模範従業員表彰式

同表彰は1958年から行われてきた。都知事感謝状は50歳以上で勤続30年以上、都産業労働局長感謝状は40歳以上で勤続20年以上の従業員が対象となる。受賞者は次のおおりに発表してもらいたい。

同表彰は「受賞された皆さんは、これまで社業や木材業界の発展に携わってきた。近年、温暖化対策の観点から木材に大きな期待が寄せられている。2021年の都市(まち)の木造化推進法の施行により公共建築物や民間の商業施設で木材の活用が進んでいる。皆さんには、これまで培ってきた力を大いに発揮してもらいたい」と述べた。

受賞者には桜井康裕(東京都産業労働局森林事務所森林産業課長)ら感謝状が贈呈された。

東京都木材団体連合会(東京都、庄司良雄会長)は6日、木材会館で2023年度東京都木材模範従業員表彰式を開き、16人(東京都知事感謝状5人、東京都産業労働局長感謝状11人)を表彰した。

模範従業員16人を表彰

社業と業界発展支える

都木連

い」と呼び掛けた。

受賞者を代表して長崎健一氏が「日頃の努力が認められたことに感謝している。これまで蓄積してきた知識と経験をすべて傾けて社業の発展と業界振興のために力を尽くしていく決意である」と謝辞を述べた。

事業者代表あいさつでは、渡辺幹夫高広木材社長が「皆さんのこれまでの頑張り、職場内の士気を高め、取引先との信頼を深めることにつながっている。支える家族の皆さんにも感謝したい」と述べた。

森林の水土保全機能重視

多面的機能に配慮も

東大先端研

東京大学先端科学技術研究センターの森章教授、鈴木紅葉特任研究員、栃木香帆子特任研究員らは、森林が持つ主要な機能である「木材生産」「水土保全」「地球温暖化緩和・健康・教育・文化の順に、森林管理に関する調査を実施した。

その結果、森林が持つ機能のなかで「水土保全機能」が最も重視されていることが明らかになった。急峻な山が多い日本では土砂崩れや洪水が多く、災害防止への関心が高いことを反映している。

同調査は、研究・実践・政策決定などで森林管理に携わる948人を対象にウェブアンケートを実施した。

森林が持つ主要な機能である「木材生産」「水土保全」「地球温暖化緩和・健康・教育・文化の順に、森林管理に関する調査を実施した。

研究員、同大学院農学生命科学研究科の曾我昌史准教授、九州大学大学院農学研究院の太田徹志准教授、溝上展也教授らで構成する研究グループが、政策立案、実務、科学者などのさまざまな立場から日本の森林にかかわる専門家を対象にアンケート調査を実施した。

その結果、森林が持つ機能のなかで「水土保全機能」が最も重視されていることが明らかになった。急峻な山が多い日本では土砂崩れや洪水が多く、災害防止への関心が高いことを反映している。

同調査は、研究・実践・政策決定などで森林管理に携わる948人を対象にウェブアンケートを実施した。

その結果、水土保全機能が最も重要だとする回答が圧倒的に多かった。同機能を重視する傾向は、水土保全に関する専門性を持たない回答者の間でも見られ、その重要性がうかがえる。

水土保全の次は、野生動物植物保全、木材生産、地球温暖化緩和、健康・教育・文化の順に、森林管理に関する調査を実施した。

なお、本成果は、森林環境税をはじめとした、森林管理に関する国内外の政策・取り組みを実施する際の重要な科学的根拠となる。

カーボンオフセット 中部電力ミライズ 都市ガスの提供開始

中部電力ミライズ(名古屋)は2月25日、中部電力の都市ガス供給エリアにおいて、法人向けに「地球温暖化対策の推進に関する法律」(温対法)に対応したCO2フリーの都市ガス「中電力カーボンオフセット都市ガス」の販売を開始した。

同社が供給する都市ガスについて、別途調

人事考課や人材育成業務に着手

「下積み」といって下積み時代はなかったですよ」と金原望社長(43)は話す。九州大学文学部を2004年に卒業後、北九州市の広告代理店でフリーペーパーの営業をしてきたが、父親が05年に亡くなった後に社長を務めていた母親に請われて、06年に未来工房に入社した。

最初の仕事は営業管理だったものの、広告代理店業務の管理は古参の社員からは不評を買った。そこでデザイン経験のある母親とともに、カタログや広告の企画などに携わるようになる。さらに、モ

金原望未来工房社長

「下積み」といって下積み時代はなかったですよ」と金原望社長(43)は話す。九州大学文学部を2004年に卒業後、北九州市の広告代理店でフリーペーパーの営業をしてきたが、父親が05年に亡くなった後に社長を務めていた母親に請われて、06年に未来工房に入社した。

最初の仕事は営業管理だったものの、広告代理店業務の管理は古参の社員からは不評を買った。そこでデザイン経験のある母親とともに、カタログや広告の企画などに携わるようになる。さらに、モ



人事担当として初めて開催した食事会(最後列左端が金原社長)

鹿倉山地区(1・54)の町有林の森林整備などを実施する。森林と工務店をつなげる踏み込んだ森づくり活動に歩み寄り、林業に寄り添っていく姿勢を明確に示すことになった。